

適用規格				
定 格 △	使用温度範囲	-55℃～ +105℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ +60℃ (注3)
	使用湿度範囲	20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲	40% ～ 70% (注3)
	適合コネクタ	DF51A-3P-2DSA(##) DF51-3P-2DS(##) DF51-3EP-2C(##)	電 流	AWG 22～26 : 2.0A AWG 28 : 1.0A AWG 30 : 0.5A
	適合端子	DF11-22SC(A)/SCF(A) DF11-2428SC(A)/SCF(A) DF11-30SC(A)/SCF(A)		UL・C-UL 規格
	電 圧	AC/DC 250V	電 流	AWG 22 : 2.0A AWG 24～28 : 1.0A AWG 30 : 0.5A

性 能

	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能 △	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—	
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—	
機 械 的 性 能	繰り返し動作 (Snメッキ)	30回の抜き差しを行う。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。△	○	—	
	繰り返し動作 (Auメッキ)	50回の抜き差しを行う。		○	—	
	結合力及び離脱力 (Snメッキ)	適合コネクタで測定する。		結合力 26.0N以下 離脱力 0.75N以上	○	—
	結合力及び離脱力 (Auメッキ)	適合コネクタで測定する。		結合力 17.7N以下 離脱力 0.75N以上	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3方向各10サイクル試験する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。△	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波3軸両方向各3回試験する。			○	—
コンタクトの 引抜き力	ハウジングを固定し電線を引張った際の 強度を測定する。	11.8N以上	○	—		
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95%中に 96時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)	①絶縁抵抗：500 MΩ以上 △ ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	温度サイクル	温度 -55 → 105℃ 時間 30 → 30分 を5サイクル試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)	①絶縁抵抗：1000 MΩ以上 △ ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐熱性	温度 +105 ± 2℃中に96時間放置する。		○	—	
	耐寒性	温度 -55 ± 3℃中に96時間放置する。		○	—	

備考

(注1) 通電時の温度上昇を含む。

(注2) 結露のないこと。

(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。

基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。

△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△	DIS-H-00004526	TS. MIYAKI	HS. OKAWA	20181218
			承認	HS. OKAWA 20160601
			検図	YN. TAKASHITA 20160601
			担当	TT. OHSAKO 20160601
			製図	TT. OHSAKO 20160601

試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (適応規格JIS C 5402) を適用している。

注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC-363930-00-00	
HRS	製品規格表	製品名	DF51-3S-2C	
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL543-5121-0-00	△ 1/1